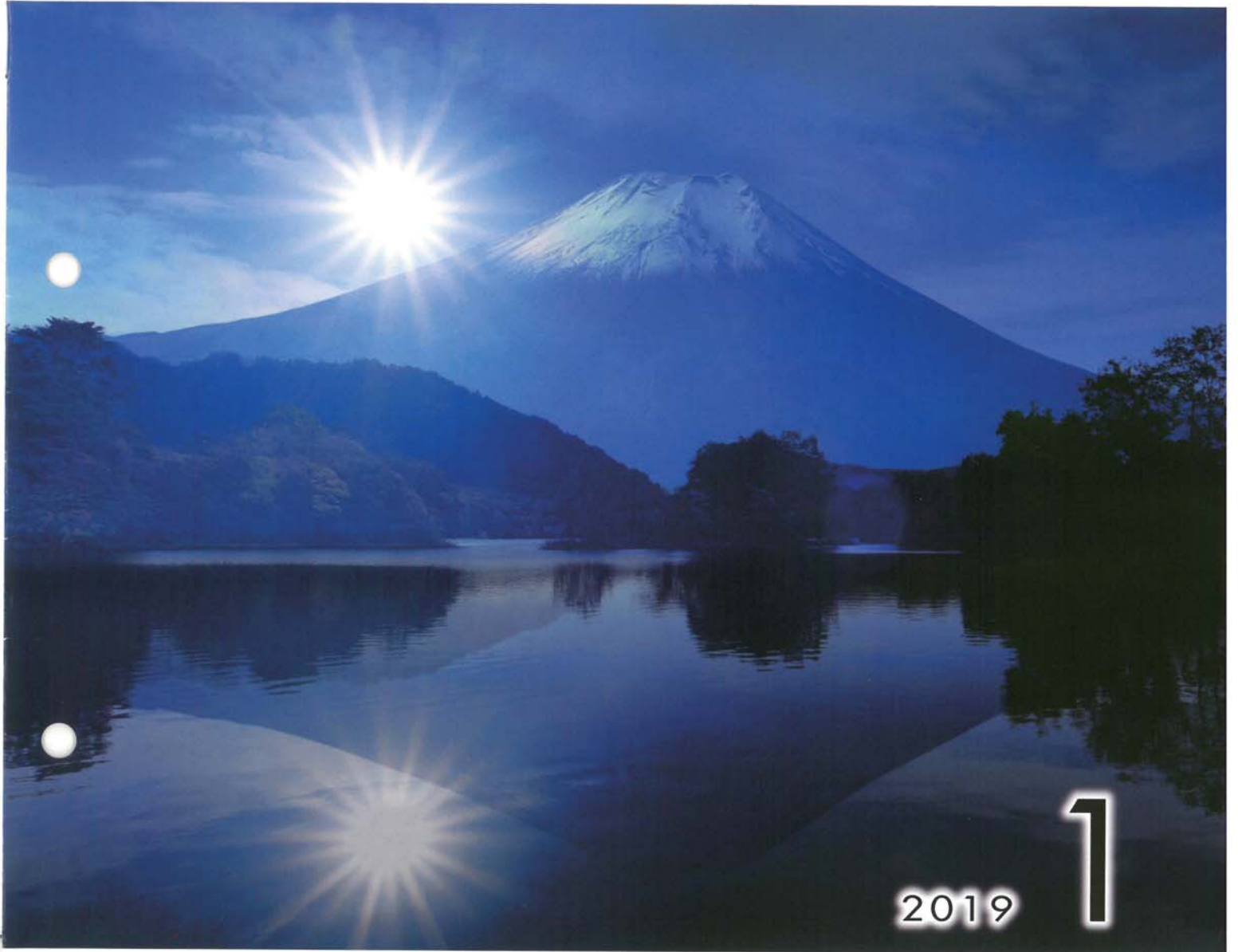


TRUCK INFORMATION WAKAYAMA

トラック情報



公益社団法人 和歌山県トラック協会



2019

1

CONTENTS

協会だより

2~7 年頭のご挨拶

8 会員だより

8 「竹田恒泰」講演会の開催のお知らせ
～第37回「物流セミナー」～

9 広報委員会が開催されました

9 和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

10 「第9回トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会」が開催されました

13~14 和歌山県警より

15 軽油価格調査集計表

16 協会日誌

17 自動車安全運転センターのページ

19 近畿交通共済のページ

謹賀新年

新春を迎え、会員皆様方の

ご多幸と事業の益々のご繁栄を

お祈り申し上げます。

平成三十一年 元旦

公益社団法人 和歌山県トラック協会

専務理事	副会長	副会長	副会長	副会長	会長
和佐純宏	上山正倫	榎本智信	和田政実	岩崎昭	阪本享三
職員一同					



年頭のご挨拶



公益社団法人和歌山県トラック協会
会長 阪本 享三

明けましておめでとうございます。

平成31年（2019年）の新春を迎えるに当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、皆様方には当協会の事業推進につきまして格別のご理解とご協力を賜り心より厚く御礼申し上げます。

昨年を顧みますと、韓国の平昌で第23回オリンピック冬季競技大会が開催され日本は過去最多のメダル数、中国主席の任期を撤廃、米国での自動運転車での初めての死亡事故、南北朝鮮首脳会談・米朝首脳会談の開催、英王室王子の結婚、インドネシアのスラウェシ島でマグニチュード7.5の地震と津波が発生し死者800人以上、台湾での特急列車の脱線事故などがありました。

国内では、沖縄で機体トラブルによる米軍ヘリコプターの2度の不時着、佐賀県での陸上自衛隊の戦闘ヘリコプターの墜落、北陸での記録的な大雪での車の長時間の立ち往生の発生、佐川国税庁長官の森友学園問題での引責辞任並びに財務省の森友学園への国有地取引に関する決裁文書の書き換え問題、高槻から神戸間の新名神高速道路の開通、大阪市営地下鉄の民営化、存在しないとされていたイラク派遣の際の日報が陸上自衛隊・航空自衛隊で発見、島根県で震度5強の地震の発生、霧島連山のえびの高原・硫黄山の噴火、財務事務次官がセクハラ発言による辞任、アメリカンフットボールの日本大学・関西学院大学定期戦で日本大学の監督・コーチによる反則タックルを指示した疑い、民進党と希望の党の国会議員が合流して新党「国民民主党」を結成、日本版司法取引制度の開始、神奈川県内を走行中の東海道新幹線内で乗客の男女3人が男に刃物で殺傷される、米軍F15戦闘機が沖縄県沖で墜落、18歳を成人とする改正民法が可決成立、大阪を中心に震度6弱の地震が発生、富山市で交番の警察官が刺殺され拳銃が奪われて小学校の警備員が射殺される、働き方改革関連法案が可決成立、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録、松本・地下鉄両サリン事件など一連のオウム真理教事件の死刑が確定していた死刑囚13人全員の刑が執行、西日本各地で記録的な大雨が降った「平成30年7月豪雨」で220人以上が死亡、カジノ法案可決成立、酷暑により国内観測史上最高の41.1度を記録、米軍普天間飛行場の返還に伴う名護市辺野古への新基地建設への反対を訴えていた翁長沖縄県知事が死亡し知事選が行われ辺野古移転反対派の玉城デニー氏が当選、日産・スバル・スズキ・マツダ・ヤマハでの自動車や二輪車の排ガスや燃費の測定をする検査での不正、大阪府警富田林署から窃盗の容疑者が逃走し1ヵ月半後に逮捕される、中央省庁等で法律で定めた障害者の雇用割合（法定雇用率）が半数水増しされていた、第100回全国高校野球選手権記念大会で大阪桐蔭が史上初の春夏2連覇を達成、台風21号の風等の影響により近畿各地で大規模な停電の発生・家屋

等の倒壊等の発生・関西空港の高波による浸水・連絡橋の破損等大規模な被害が発生、北海道胆振地方を震源とする震度7の地震が発生、仙台市で交番で警官が男に刺され死亡し男も別の警官に撃たれ死亡、自民党総裁選で安倍首相が3選を果たす、貴乃花親方が日本相撲協会に引退届を提出、築地市場が豊洲へ移転、京都大学の本庶佑特別教授がノーベル医学生理学賞を受賞、積水ハウスが東京都品川区の土地取引をめぐる「地面師」グループに約55億円をだまし取られる、油圧機器大手のKYBが建物の安全性を高める免震・制振装置の検査データを改ざん、日本航空の副操縦士から基準を超えるアルコールが検出され禁錮10か月の実刑判決、日産のカルロス・ゴーン会長とグレッグ・ケリー代表取締役が報酬の過小記載容疑で逮捕、2025年の国際博覧会（万博）の開催が大阪に決定、室戸岬沖で米軍の戦闘機と空中給油機が接触して墜落、水道事業を民営化しやすくする改正水道法が可決成立、外国人労働者の受け入れ拡大に向けた改正入国管理法が可決成立されるなど色々な出来事や事件・災害が多発しました。

運輸業界におきましては、ネット通販最大手のアマゾンジャパンの送料が宅配の運賃アップを転嫁するため送料を最大で5割アップ、運転手不足により引越繁忙期の車両の不足の発生、引越運送約款の改正、大手引越事業社が一部の企業に対して引越の荷物量を水増しし割高な金額を請求、大手運送事業者による非常時に供給するために政府が備蓄するコメの保管を巡る不正行為が発覚、改正貨物自動車運送事業法の可決成立などがありました。

和歌山県に於きましては、ヤマト運輸と和歌山電鐵が貴志川線で宅配便を輸送する「貨客混載」事業を開始、台風21号の影響により家屋の損壊・長時間広範囲にわたる停電・雑賀崎の金属団地等の高潮による被害、和歌山県警の巡査が首相車列警護中に拳銃を落とす、第4次安倍改造内閣で幹事長に二階俊博氏（留任）・経済産業大臣に世耕弘成氏（留任）・総務大臣に石田真敏氏（新任）が就任、和歌山県知事選挙が行われ現職の仁坂和歌山県知事が4選目を果たすなどがありました。

トラック協会におきましては、台風20号・21号・24号による浸水やトラックの横転など会員事業所の大きな被害の発生、また、10月7日の「トラックの日 交通安全フェスティバル」におきましては、会員皆様他関係機関のご協力により、大勢の来場者を迎え開催出来ましたことを心より感謝申し上げます。

本年は、天皇の交替があり、新しい元号に変わる年であります。

当協会としてもドライバー不足解消に向けて、広報委員会が中心となって県内の高校での出前授業の実施、11月に和歌山県内で開催される予定の「ねりんピック紀の国わかやま2019」への協力、和歌山県・近畿運輸局等の行政機関並びに各団体等の協力を得て、公益社団法人としてトラックの日のイベント等を通じて「交通事故防止・環境保全・防災」で社会に貢献出来るよう、また会員事業所へのサービスの強化や労働時間の短縮・ドライバー不足の解消に向けて取り組みたいと考えておりますので、会員事業所のご協力をよろしくお願い申し上げます。

これからも公益社団法人として、公益性のある事業により一層取り組むと共に会員サービスの向上に向け、もとより微力な私ではありますが、我々トラック運送業界をめぐる情勢は経営者・ドライバーに伴って極めて厳しい折柄、その責務を痛感し、業界発展の為に最善の努力を致す所存でございますので、会員の皆様をはじめ関係各位におかれましては、本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、一層のご多幸と事業のご繁栄を祈念して新年のご挨拶と致します。



近畿運輸局和歌山運輸支局長
川 隅 則 明

1. はじめに

新年明けましておめでとうございます。平成31年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

平成27年に閣議決定された「交通政策基本計画」は、現在、我が国が抱える人口減少、少子高齢化を始めとする諸課題への対策として打ち出されたものであり、同計画が定める基本的方針は、都道府県において着実に実施していく必要があります。

特に、和歌山県においては、人口減少に加え、高齢化も著しく、地域の活力低下が進み、各運輸（陸運、海運）事業、整備事業の各業界において若年層の人材確保が難しくなっています。このままでは地域拠点を結び、地域の活性化に貢献する公共交通の維持活性化はもちろんのこと、次世代への技術継承を始めとする安全・安心の確保も危ぶまれる状況となります。

また、和歌山県を訪れる国内外旅行者は、平成29年については、前年比96.8%とやや減少しております。今後、さらなる国内外からの観光客誘致を促進することは、世界遺産等の観光資源を有する和歌山県にとって、地域における活力を増進するために不可欠であり、引き続き受入環境整備を進めることが急務であると考えております。私どもといたしましても地域の活性化のため、まちづくりや観光などの施策について関係者と連携し、公共交通ネットワークの確保・維持に努めて参ります。

さらに、マイカー普及率の高い地域においての高齢化等による、交通弱者問題への対策として、住民の方々に日常生活の中で安全安心に利用してもらうことの出来る利便性の高い公共交通輸送の確立と自動車交通にかかる安全確保の施策についても、しっかりと取り組んで参りたいと考えております。

4

2. 安心して利用できる安全な交通について

和歌山運輸支局におきましては、引き続き、運輸事業の安全・安心の確保のために、各モードの特性に応じ、最大限の努力をして参ります。

事業用自動車については、平成21年3月に策定した「事業用自動車総合安全プラン2009」に基づき、事業用自動車の関係者と一丸となって事故防止に取り組んできましたが、軽井沢スキーバス事故等の発生、自動車の先進安全技術の急速な発展など、当該プランの見直し時から大きな状況変化があったことから、当該プランの安全対策を総合的に見直し、平成30年6月に「事業用自動車総合安全プラン2020」を策定しています。これにより、平成32年までに近畿での事業用自動車事故における死者26人以下、人身事故件数4,061件以下、飲酒運転をゼロにするという目標達成に向け、関係者と協力して取り組んで参ります。

海運については、重大事故に発展する可能性の高い船舶火災について、監査等の機会を捉え、事業者に対し、十分な検討、備えを行うよう指導して参ります。

また、危険物積載船には立入点検を実施し、安全設備の適正な維持・確認を行うとともに、外国船舶に対してはポートステートコントロールを的確に実施し、航行の安全確保と海洋汚染等の防止を図ります。さらに、プレジャーボート等の小型船舶を対象とする船舶検査受検及び救命胴衣着用の指導等の安全対策を行って参ります。

これら運輸事業の安全・安心の確保のためには、経営トップから現場まで事業者自らが社内一丸となった安全管理体制を構築し、積極的に取り組むことが不可欠です。

和歌山運輸支局としても、安全思想の普及・強化に向けて運輸安全マネジメント制度の充実に積極的に取り組んで参ります。

3. 観光振興について

近年「観光」は、我が国の「地方創生の切り札」「成長戦略の柱」と位置づけられ、2016年に策定し

た「明日の日本を支える観光ビジョン」において、2020年、2030年に向けた高い目標を掲げるとともに、「観光」を我が国の基幹産業へと成長させ、観光先進国の実現を図るため、政府一丸となった取り組みを進めています。

しかしながら、平成30年は全国各地で地震や風水害といった自然災害が発生、西日本でも大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風21号などで大きな被害がありました。特に台風21号におきましては、和歌山県内についても各地域で被害が発生しました。また、国内外から和歌山県へのゲートウェイである関西国際空港が浸水や停電さらには、空港連絡橋へのタンカー衝突等の影響により閉鎖するなど、一時は訪日外国人旅行者が大幅に減少し、経済への悪影響が危惧されました。

これらに対し、インバウンド観光の早期回復と更なる活性化のため、オールジャパンの取り組みを行った結果、訪日外国人旅行者数は一時の落ち込みから回復し、平成30年10月で2,610万人と対前年を上回る数値を維持し、通年で平成29年の2,869万人を超え、過去最高となる見通しです。

政府が掲げた目標達成のためには、訪日外国人旅行者がストレスなく快適に行動し、満足度を落とさずリピーターとなって頂けるような、世界に誇る魅力あふれる国づくりが必要とされています。

和歌山運輸支局においても、平成29年5月には、外国人観光客が安心して公共交通機関を利用できる環境づくりに向け、交通事業者をはじめ、有識者、関係市町や観光協会等が参画する熊野外国人観光客交通対策推進協議会を和歌山県と連携して設立し、熊野地域の受入環境整備・充実に向けた取り組みを官民一体となって推進しております。

加えて、引き続き「関西クルーズ振興協議会」においてクルーズの魅力を発信し、関西圏の諸都市、観光地、港湾等が連携してクルーズ客船の誘致活動を推進します。

4. 地域公共交通の確保・維持等について

地域公共交通については、「改正地域公共交通活性化再生法」に基づく地域公共交通網形成計画の策定を促進するとともに、生活交通の維持・確保のための支援を行い、地域公共交通ネットワークの再構築を進めて参ります。

また、独自の取り組みとして、地方自治体が連携して地域の公共交通に関する課題解決に取り組む「地域連携サポートプラン」の取り組みを平成28年度より実施して参りました。今後も、課題解決のための提案に向けた取り組みを進めて参ります。

また、生活交通の存続が危機に瀕している地域においては、「地域公共交通確保維持改善事業」により、地方のバス路線等の生活交通の確保・維持に向けた取り組みを引き続き支援して参ります。

5. 交通運輸サービスの発展・利便性向上について

乗合バスについては、貨客混載の取り組みや観光客の利用促進等の「生産性向上の取り組み」を推進しつつ、生活路線の維持確保を図ります。

貸切バスについては、過去に発生した貸切バスの事故及び近年、訪日外国人旅行者数の急増する中、貸切バス事業の安全を適切に確保するため、平成29年4月に設置した「(一財)近畿貸切バス適正化センター」と連携し、法令違反の疑いのある事業者等に対する監査を実施するとともに、観光地等においても街頭監査を行うなど、引き続き、貸切バスの安全・安心の確保に努めて参ります。

タクシーについては、現在、運賃改定の申請が行われており、状況を見極めながら適切に対応して参ります。また、準特定地域について、協議会の運営の面において支援するとともに、地域と連携した住民の足の確保や、需要の掘り起こしによる活性化などの取り組みを支援して参ります。

トラックについては、少子高齢化・人口減少の進行に伴い労働者不足が深刻化する一方、貨物の小口・多頻度化や電子商取引の普及・拡大など、従来の物流システムでは、安定的な物流の確保・維持が困難になってきています。

このため、平成29年7月に新たな「総合物流施策大綱(2017年度~2020年度)」が閣議決定され、これからの物流に対する新しいニーズに応え、我が国の経済成長と国民生活を持続的に支える「強い物流」を実現していくため、各種取り組みを推進しているところです。

また、自動車運送事業(トラック・バス・タクシー)にあつては、長時間労働を是正するための環境整備やインセンティブ・抑止力の強化を図るため、「自動車運送事業の働き方改革の実現に向けた政府行動計画」に基づく施策に取り組むこととしています。

国土交通省では、荷待ち時間の削減、宅配便の再配達削減等により、生産性の向上に取り組むとともに荷主勧告制度の適切な運用、標準貨物自動車運送約款の改正等による運賃料金の適正収受など、取引環境の適正化を推進しています。和歌山運輸支局においても、制度や約款の更なる周知徹底、取引環境の適正化を図るため荷主団体への協力要請を行うとともに、労働局・トラック協会・荷主団体等と共同で取り組んでいる「トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会」において、長時間労働の抑制、生産性向上のための議論を進めています。この協議会で実施しているコンサルティング事業により得られた成果を踏まえ、改善提案を行うとともに、生産性向上や労働環境改善等の普及に必要なノウハウの蓄積・横展開を図ります。現在78.5%まで浸透しているトラックへの新約款の導入については、さらなる浸透を目指していきます。

さらに、平成28年に施行された「改正物流総合効率化法」（物効法）に基づき、モーダルシフトや貨客混載事業の推進、トラック予約受付システムの導入など物流の効率化に向けた事業者の取り組みを支援しています。

和歌山運輸支局としては、これらの活動を通じ、物流の生産性向上に、鋭意取り組んで参ります。

加えて、バス・タクシー・トラックドライバー、自動車整備士、船員や造船技能者の人材確保や女性の活躍推進については、各事業者団体や地方自治体と協力しながら、学校訪問、イベント開催時の職業体験等の活動について、できる限り協力をして参ります。

これらのほか、自動車検査・登録については、ユーザー利便性向上の観点から実施している自動車保有関係手続のワンストップサービス（OSS）は、平成30年2月より新車新規登録等の手続きについても開始となり、引き続き継続検査の手続きとともに利用率の向上に努めて参ります。

自動車の安全確保等については、独立行政法人自動車技術総合機構と連携して、適切かつ確実な検査を実施するとともに、街頭検査を実施し不正改造車の排除を行い、また、定期点検整備の確実な実施に向けた対応として、自動車検査証に点検整備の実施状況を記載し指導等に活用するなど、引き続き自動車ユーザーにおける適切な保守管理の実施を推進して参ります。

また、自動車整備士の人材確保・育成については、少子化や若者のクルマ離れ等により、自動車整備士を目指す若者が激減しており、近い将来、整備業界を支える人材が不足し、クルマ社会の安全・安心を支える基盤が脅かされる恐れがあるということで関係機関と協力し、引き続き高校訪問等を実施し自動車整備士の人材の確保・育成に努めて参ります。

フェリー・内航海運については、モーダルシフトの主要な担い手であるとともに、災害時の緊急輸送手段としても活用がなされたところです。和歌山運輸支局管内においても2019年度末にフェリーのリプレイスが予定され輸送力の強化・安定化が図られており、今後も航路の維持・活性化に取り組んで参ります。

内航海運については、内航未来創造プランの策定から1年が経過したことを踏まえ、内航海運事業者の経営基盤の強化、先進的な船舶等の開発・普及、船員の確保・育成等について、施策の進捗状況を確認しました。引き続き、これら各施策の実現を着実に進めるとともに、従来からの支局と海事関係団体等との共催による、和歌山市内の小学生と保護者を対象にした「海の教室」で次世代を担う小学生に、海や船に関する仕事についての理解を深めてもらい、将来の職業選択の一つとなるよう、引き続き取り組んで参ります。

バリアフリー対策については、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、平成32年度末を期限とした整備目標に向け、施設や車両等の整備を促進するとともに、「心のバリアフリー」の普及に取り組んで参ります。

6. 防災・危機管理対応について

防災・危機管理対応については、近い将来発生することが予測されている南海トラフ地震等、大規模災害発生時の対応として、災害の予防や被害軽減対策等に取り組んで参ります。

また、テロ、新型インフルエンザの発生等緊急事態に対し適切に対応できるよう、警察、交通事業者、関係機関等との連携を図り、初動体制の整備や未然防止等の対策を行って参ります。

最後になりますが、交通・観光行政を通じて、地域の発展に繋がるような取り組みや豊かで快適な生活の実現に貢献して参りたいと考えています。

今後も当局の行政に関し、皆様方の一層のご支援、ご協力をいただくよう心からお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



和歌山県知事

仁坂吉伸

新年おめでとうございます。

謹んで公益社団法人和歌山県トラック協会の皆さんに新春のお慶びを申し上げます。

去る11月25日の県知事選挙におきまして、多くの県民の皆さんのご支持を頂き、さらに4年、県政の舵取りをさせて頂くことになりました。本当にありがたいことだと思います。

知事就任以来、ふるさと和歌山を元気にするため全力投球で取り組み、この12年間で和歌山の新たな経済発展のための条件がようやく整備されてきました。

例えば、高速道路網や県内幹線網も格段に整備されてきました。公共調達制度、産業振興の制度、農林水産業の振興策などもかなり整備されてきましたし、内外の観光客の増加なども顕著になってきました。

さらに、防災対策、子育て支援、教育、医療・福祉などの政策の整備も着々と進んでまいりました。

しかしながら、長年の経済停滞や高齢化の進展などによって和歌山県が抱えてきた問題が解決されたわけではありません。インフラ整備も完成しておりませんし、産業活動の「爆発」もまだまだです。地震・津波対策や風水害対策も加速していかなければなりません。少子・高齢化対策も充実していかなければなりません。人口減にも歯止めをかける目途がまだたっていません。

このような困難な課題にも果敢に挑戦し続け、ようやく整いつつある発展のための条件を生かし力強い発展を現実のものにしていかなければなりません。

さて、トラック輸送は、国内貨物輸送量の9割以上を占める、日本の経済と国民生活を物流面で支える重要な産業であり、大規模災害時には救援物資輸送の担い手として、なくてはならない存在です。

貴協会が、物流活性化により県経済の発展に大いに貢献しておられるとともに、大規模災害に備えた県内全市町村との緊急物資輸送に係る協定締結など、災害対策においても多大なるご尽力をいただいていることにお礼申し上げます。

県では、11月に「ねんりんピック紀の国わかやま2019」を開催いたします。年を重ねてもスポーツや文化を楽しむ素晴らしさを全国の方々と共有するとともに、「おもてなし」の心や素晴らしい自然など魅力に溢れた和歌山を全国に発信してまいりたいと思っていますので、貴協会におかれましても、ご理解とご協力をお願いします。

本年5月には元号が「平成」から新元号となり、今まさに新しい時代が始まろうとしています。目まぐるしく変化する時代の中、和歌山県人の「進取の気性」で和歌山県発展の駆動力となるよう、これまで以上に全力投球してまいります。

新しい一年が、貴協会の皆さんにとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

会員だより

◎変更届

届出年月	変更事項	新	旧
平成30年12月	指定代表者	三笠建設(株) 村山 宣博	三笠建設(株) 玉置 守男
平成30年12月	指定代表者	(株)共栄建設工業 小川 裕也	(株)共栄建設工業 小川 宗章

「竹田恒泰」講演会の開催のお知らせ ～第37回「物流セミナー」～

平成30年度物流対策事業の一環として「竹田恒泰」講演会～第37回物流セミナー～を下記により開催致しますので、会員事業所が取引されている荷主様のご出席方のお願いを申し上げますと共に、貴社（店）に於かれましても是非ご出席賜りますようご案内いたします。

また、ご出席いただける場合は、お手数ですが、平成30年12月10日付 和ト協第140号でご案内しております申込書にてFAXまたは郵送でお申込み下さい。

記

1. 日 時 平成31年2月10日（日） 午後3時開会
2. 場 所 「ホテルグランヴィア和歌山」6階
和歌山市友田町5-18
3. 主 催 (公社)全日本トラック協会
(公社)和歌山県トラック協会
4. 講 演
テーマ 「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」
講 師 竹田 恒泰 氏



広報委員会が開催されました

開催日時 平成30年12月18日(火) 11時00分～14時00分
 開催場所 和歌山県トラック会館 2階会議室
 出席者 【委員長】横山 郁芳 【副委員長】仮谷 依子、虎谷 勝之
 【委員】井上 巳喜、渡邊 孝富、綾江 憲二、奥 倫明
 【オブザーバー】和田 政実、和佐 純宏、アイテム3名
 【事務局】上西 克紀、市坪 幸男、高田 敦久



- (1) 出前講座について
- (2) 協会イメージソングカラオケ化について
- (3) 就職用DVD第2弾について
- (4) その他について

去る平成30年12月18日(火)和歌山県トラック会館2階会議室において広報委員会が開催され、上記の議題について検討を行った。

(1) 出前講座については、昨今のドライバー不足対策として行う新規事業で物流業界の災害時の重要性や魅力等を伝え、就職先の一つとして、選択してもらえるように高校の授業の一環として行います。第1回目は2月1日(金)に和歌山県立有田中央高校で行うこととなっており、その講座の資料等の検討を行った。

(2) 協会イメージソングカラオケ化については、現状の確認を行い作詞作曲名等登録に必要な名義を確認を行い可決され、1月の理事会に上程することとなったが、カラオケ化に際してBGMを変更してはとの意見等があり引き続き広報委員会で検討することとなった。

(3) 就職用DVD第2弾については、依頼先について検討したところテレビ和歌山に決定した。また、第1弾と同じイメージでの作成を行わず今回は災害支援を主に考えトラックの重要性をPRすることとなった。また、出演者募集については構成が完成次第募集することとなった。

(4) その他についてとして、和ト協HPに求人掲載する件については求人広告会社のアイテムに委員会にきていただき説明をしていただいた。



委員会終了後有田中央高校へ現場視察及び打合せを行った。

(有田中央高校)

和歌山県交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品を寄贈

平成30年度交通事故防止等啓発事業の一環と致しまして、財団法人交通遺児を励ます会ボウリング大会に景品の寄贈を行いました。

贈呈につきましては、去る平成30年12月2日(日)、公益財団法人交通遺児を励ます会主催、独立行政法人自動車事故対策機構和歌山支所共催によるボウリング大会が交通遺児家族を対象に交通安全を呼びかけることを目的に、和歌山市の「和歌山グランドボウル」に於いて開催され、当協会と致しましても、交通遺児家族の少しでもの一助となりますよう、和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長に景品を贈呈させて頂きました。

当日は、9家族21名が参加され当選した景品を喜んで頂きました。

また、後日平成30年12月11日和歌山県交通遺児を励ます会北浦理事長が協会を来訪し、阪本会長に感謝状授与式が行われました。



「第9回トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会」が開催されました

平成30年12月7日（金）、和歌山県トラック会館2階会議室で、トラック運送事業者、荷主、行政等の関係者が一体となり、トラック運送業における取引環境の改善及び手待ち時間等による長時間労働の抑制を実現するための「トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会（座長：辻本勝久 国立大学法人和歌山大学経済学部 教授）」の9回目の会合が開催されました。

当日は、本年度実施されている「コンサルティング事業（実証実験）」の中間報告、昨年11月に改正された運送約款のアンケート調査結果報告、取引環境と長時間労働の改善に向けたガイドラインの説明、働き方改革関連法の概要説明、取引環境・労働時間改善中央協議会の情報提供がされ、会議終了後、本年度のコンサルティング事業の実施されている三菱電機(株)冷熱システム製作所と和歌山港の現地視察が実施されました。

全国的に貨物自動車運送約款の提出等が未だにされていない事業者があるため、行政処分等が実施される可能性があり、未提出事業者には再度和歌山運輸支局より早期提出依頼文が発出されますので、早急に手続きをされますようお願い申し上げます。



平成31年 2月3日(日) *42.195km* 第24回 紀州口熊野マラソン

田辺・西牟婁周辺のみなさまへ

平素は、紀州口熊野マラソンの開催にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。深く、感謝申し上げます。

さて、当マラソンも24回目を迎え、総数6,000名の参加者を予定しており、健康の保持増進だけでなく、紀南地方の冬の観光スポーツイベントとしても確立されてきました。

また、2月2日(土)に2kmと3km、2月3日(日)にフルとハーフを実施することになっております。コース周辺の方々には2日間にわたり交通規制等で大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

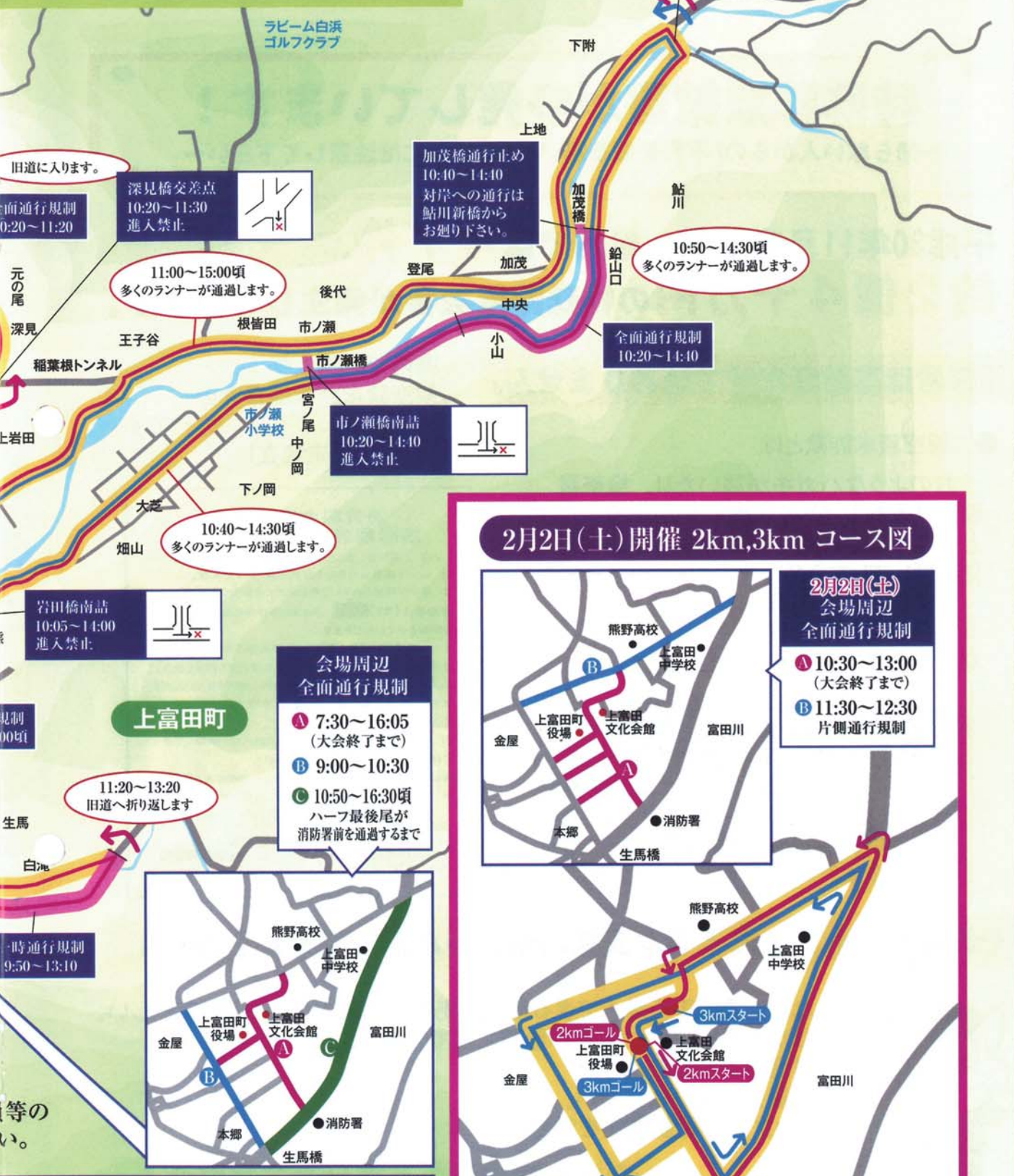
また、ご自宅近くをランナーが走行される場合、ご声援を頂ければ幸いです。

平成31年1月

紀州口熊野マラソン実行委員会
 実行委員長 上羽 寛
 大会長 上富田町長 奥田 誠



マラソンコース図



種目	(スタート時間)	(予想参加人数)
フルマラソン	9:50~	2,300名
ハーフマラソン	10:00~	2,300名

和歌山県警より

特殊詐欺被害が多発しています！

～知らない人からの「不安を煽る話」や「儲け話」には注意して下さい～

平成30年11月末現在、県内では**47件**、
約2億4千万円の特殊詐欺被害が発生しています。

被害者は高齢者だけではありません。

● 架空請求詐欺とは

右のようなハガキが届いたり、携帯電話に「有料サイトの未納料金がある」などのメールが届き、記載されている番号に電話してしまうと

「未納料金の支払い」

「裁判の取り下げ費用」

などの名目で現金を要求されます。

※ 料金の支払い方法は、金融機関での振込以外に、宅配便で現金を送るように指示されたり、コンビニで電子マネーやプリペイドカードを買って、その番号を教えるように言われることもあります。

県内で発生した
架空請求詐欺被害者の
約半数は**20歳代～50歳代**です。
(H30.11月末現在)

消費料金に関する
訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致しましたのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が提出されました事を改めて告知致します。

管理番号(わ)■■■■ 訴訟取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

また、このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全面的に受理され、執行官立ち合いの下、給与等の差し押さえ及び、不動産、不動産物の差し押さえを強制的に執行させていただきますので裁判所執行官による執行証書の交付を承諾していただくようお願い致します。

尚、訴訟取り下げなどのご相談につきましては、当局にて承っておりますので下記までお問合せ下さい。

書面での通達となりますのでプライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきますようお願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成29年12月08日

法務省管轄支局 民事訴訟告知センター

東京都千代田区霞が関1丁目■■■■番■号

取り下げ等のお問合せ窓口 03-■■■■-■■■■

受付時間 9:00～20:00(日、祝日除く)

それ以外にも、このような文言の電話がかかってきたら注意！



- ・ あなたに債権等を購入できる権利がある。名義だけでも貸して欲しい。
- ・ あなたのキャッシュカードが悪用されています。
- ・ 還付金があります。
- ・ 外国通貨を買いませんか。
- ・ ギャンブルの必勝情報を教えます。

→全て詐欺に使われている手口です！

和歌山県警察



ご家族を詐欺の被害から守りましょう。

今年、県内で発生したオレオレ詐欺被害者の約7割は高齢者です。



よく使われる文言

- ・トラブル(投資で失敗した。会社のお金を使い込んだ。)が発生した
- ・このままでは警察に捕まってしまう
- ・夫のいる女性を妊娠させてしまった

被害に遭われた方々は、早く家族を助けてあげたいという一心で行動し、大切な財産を騙し取られてしまっています。

「家族の声は絶対に間違わない」という思い込みは禁物!

犯人は最初に

「風邪を引いて声の調子がおかしい」
「新しい携帯電話に変わったので、この番号を登録してほしい」

などと言って、本当の息子等であると信じ込ませます。



ご家族が被害者にならないために...

ご家族に

「電話やメールでお金のお話が出た時は、必ず以前から知っている家族の番号にかけ直してほしい」

ということを伝えて下さい。

その他の対策

- ・自宅の電話機を常に留守番電話に設定する。
- ・普段から家族と詐欺の手口などについて話し合い、家族間で合い言葉を決めておく。

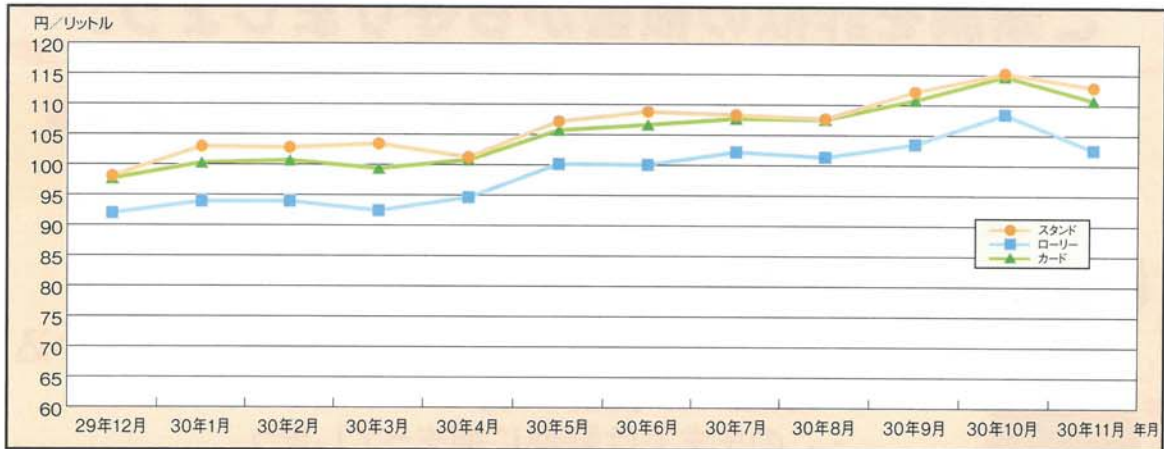


警察相談電話 # 9110

軽油価格調査集計表

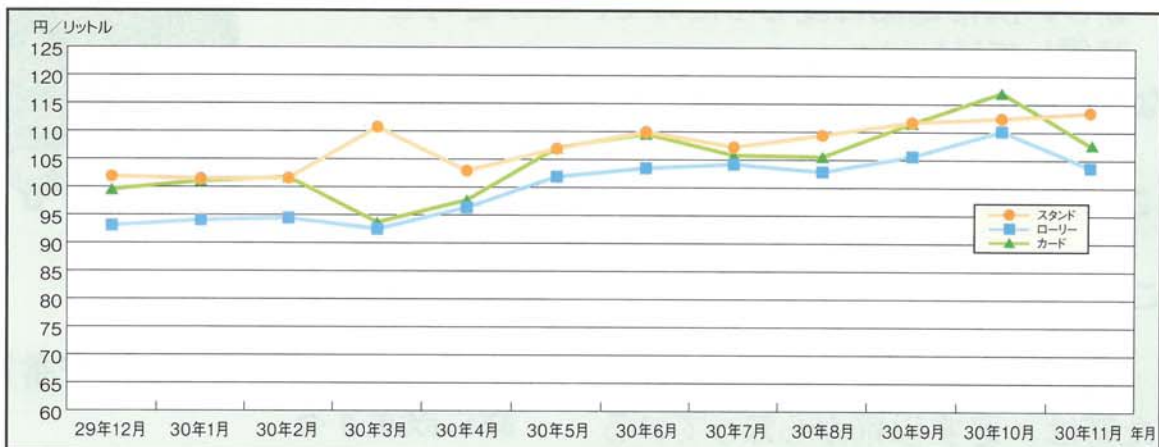
平成30年12月25日現在
(公社)全日本トラック協会

軽油価格推移グラフ (近畿)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2017年 12月	98.17	2.56	92.08	2.14	97.78	0.58
2018年 1月	103.06	4.89	94.03	1.95	100.39	2.61
2018年 2月	102.90	-0.16	94.04	0.01	100.79	0.40
2018年 3月	103.52	0.62	92.53	-1.51	99.48	-1.31
2018年 4月	101.33	-2.19	94.72	2.19	100.91	1.43
2018年 5月	107.27	5.94	100.26	5.54	105.84	4.93
2018年 6月	108.89	1.62	100.15	-0.11	106.77	0.93
2018年 7月	108.41	-0.48	102.29	2.14	107.80	1.03
2018年 8月	107.78	-0.63	101.46	-0.83	107.66	-0.14
2018年 9月	112.24	4.46	103.59	2.13	110.89	3.23
2018年 10月	115.33	3.09	108.57	4.98	114.84	3.95
2018年 11月	112.97	-2.36	102.65	-5.92	110.85	-3.99

軽油価格推移グラフ (和歌山)



	スタンド	前月比	ローリー	前月比	カード	前月比
2017年 12月	101.92	5.53	93.20	3.22	99.64	3.38
2018年 1月	101.51	-0.41	94.18	0.98	101.09	1.45
2018年 2月	101.60	0.09	94.54	0.36	101.81	0.72
2018年 3月	110.75	9.15	92.60	-1.94	93.77	-8.04
2018年 4月	102.97	-7.78	96.46	3.86	97.77	4.00
2018年 5月	106.97	4.30	102.01	3.80	107.14	8.07
2018年 6月	110.01	3.04	103.58	1.57	109.66	2.52
2018年 7月	107.31	-2.70	104.29	0.71	105.87	-3.79
2018年 8月	109.42	2.11	102.95	-1.34	105.63	-0.24
2018年 9月	111.77	2.35	105.71	2.76	111.62	5.99
2018年 10月	112.47	0.70	110.26	4.55	117.11	5.49
2018年 11月	113.50	1.03	103.73	-6.53	107.70	-9.41

協会日誌

開催日	行 事	開催地
平成30年 12月	6日 全ト協・理事会	東京都
	// 適正化指導員連絡会議・夜間パトロール	和歌山市他
	7日 トラック輸送における取引環境・労働時間改善和歌山協議会	和歌山市
	12日 近畿地区物流政策懇談会	大阪市
	14日 正副会長会議	和歌山市
	18日 広報委員会	//

開催日	行 事 予 定	開催地
平成31年 1月	8日 和歌山県経済団体連合会新春賀礼会	和歌山市
	9日 整備管理者定期研修	田辺市
	10日 //	//
	// 全国専務理事業務連絡会議	京都市
	16日 正副会長会議・予算委員会・交付金運営委員会合同会議	和歌山市
	// 総務委員会	//
	17日 整備管理者定期研修	新宮市
	// 東南海・南海地震等の想定地域における民間の施設・ノウハウを活用した災害に強い物流システムの構築に関する協議会分科会	和歌山市
	22日 全ト協・新年賀詞交歓会	東京都
	24～25日 試験事務担当者研修会	//
	// 平成30年度適正化事業指導員全国研修「スキルアップ研修」	//
	25日 理事会	白浜町
	29日 近ト協・幹事会	大阪市
	// 近畿スマートエコ・ロジ協議会・幹事会	//

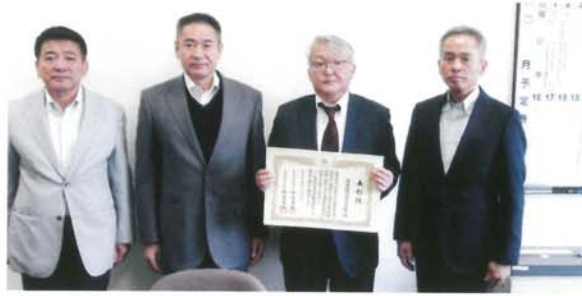
運転記録証明書を活用した優秀安全運転事業所に対する表彰

自動車安全運転センターでは、運転記録証明書の申請から過去1年間の交通違反と交通事故が極めて少ない事業所を表彰し、「安全運転をつくろう。」の一層の推進を図っています。

この制度は、年3期に分け、従業員等の80%以上で、かつ20人以上の一括申請をした事業所を対象にしています。

今回は、5月～8月に一括申請された事業所に対する評価表彰です。

◆ 10月の表彰事業所 金 賞 (1事業所)



長栄物流 (株)
(取締役社長 若林 伸男様)

銀 賞 (1事業所)



新潟運輸 (株) 和歌山支店
(支店長 西村 一弘様)

◆ 表彰基準の変更について

表彰基準が平成30年1月1日以降の申請に適用されます。

(平成30年1月施行)

	プラチナ賞 (3年累積評価)	金 賞 (1年間評価)	銀 賞 (同)	銅 賞 (同)
付与点	3年連続 累積点 15点	7点	5点	3点
違反率	例 金金金賞 21点 金銀銀賞 17点 金銀銅賞 15点 銀銀銀賞 15点 金賞等との複(重)賞なし	違反率2%以下 特定(酒気帯び等) 違反除く	4%以下 左同	5.5%以下 左同
事故率		軽傷事故率0.5%以下	左同0.6%以下	左同1%以下

表彰時期 年3回：1～4月申請→7月 5～8月申請→11月 9～12月申請→翌年3月
個人にはSDカードを交付 (1年以上事故・違反の記録がない方)

平成 30 年度 センター創立記念日における理事長感謝状

自動車安全運転センターでは、運転記録証明書を継続的に活用されている企業、団体等に対しセンター創立記念日（11月1日）に理事長感謝状を毎年贈呈しています。

◆平成 30 年度 感謝状贈呈事業所（トラック協会関係）

ヤマト運輸株式会社和歌山主管支店
佐川急便株式会社和歌山営業所
株式会社キング・ライン
株式会社渡辺産業運輸
株式会社酒本運送
光運輸株式会社



ヤマト運輸（株）和歌山主管支店
安全推進課

指導長 吉川 道生様
係長 橋本 光明様（左端）



（株）渡辺産業運輸
代表取締役 渡邊 孝富様



佐川急便（株）和歌山営業所
安全推進課

課長 打越 道典様



（株）酒本運送
代表取締役 阪本 享三様



（株）キング・ライン
代表取締役社長 池田 政隆様



光運輸（株）
代表取締役 山田 大介様

新しい「搬送引取費用特約」のご案内

(ロードサービス特約)

去る12月5日(水)に開催された第104回臨時総代会において「搬送引取費用特約」の改正が議決されました。この改正は、近畿運輸局長の認可を受けたのち、4月1日からの実施を予定しています。

〈改正案の内容〉

① 特約の付帯条件の変更

この特約にご加入いただける条件を **車両共済** 契約車両から **対人共済** 契約車両に変更します。

② 共済金上限額の変更

搬送費用(応急処置費用を含む)の上限額を走行不能となった原因(事故・故障)ごとに区別して、下記の通り引き上げます。

(現行)

事故・故障による場合 15万円



(改正後)

事故による場合 100万円

故障による場合 30万円

③ 特約掛金の変更

- ① 搬送引取費用特約の掛金をおおむね **半額以下** に引き下げます。
- ② 適用する割引割増率を車両共済の割引割増率から対人共済の割引割増率に変更します。

特約掛金		現行	変更(4月1日から)
共済金限度額		15万円	100万円(事故) 30万円(故障)
用途・車種		(車両共済運搬費用を除く)	
01	営業用 2トン超	43,600円	18,100円(58%引)
02	営業用 2トン以下	24,400円	10,000円(59%引)
03	営業用 小型貨物	12,700円	5,100円(60%引)
05	営業用 軽貨物自動車	10,200円	4,200円(59%引)
06	普通ダンプカー	41,700円	15,800円(62%引)

自動車共済・自賠償共済はぜひ近畿共済でご契約を

近畿共済は貨物自動車運送事業者が相互扶助の精神のもと、組織された共済組合です
お問い合わせ・連絡先 和歌山事務所 (073-422-2451) まで



わがトラくん

vol.74

まんが/フミ

シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を。点検・整備をしっかりとしましょう。

ISUZU
「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

Always Next to You

— いつもあなたの暮らしのそばに —



いすゞ自動車近畿株式会社

和歌山支店

〒649-6336 和歌山市小豆島40-2

TEL 073-488-6655

<http://www.isuzu-kinki.com>



和歌山県トラック協会テーマ曲

「さあいこう」

作詞 studio304
作曲 虎淵 巖
編曲 studio304
歌唱 竹田友香

(1番)

ハンドル握り アクセル踏んで 荷台に いっぱい 夢を乗せて
晴れた時でも 嵐の日でも待ってる人が そこにいるから

朝日かがやく 海岸走り
星のきらめく あの丘越えて

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック協会

(2番)

今日も笑顔で 安全運転 優しい気持ちを いつも胸に
細い道でも 広い道でも マナーを守る 気配り上手

潮の香りの 岬をまわり
みかんの花咲く あの山のぼる

さあいこう さあいこう
幸せ 届けるため
さあいこう さあいこう
みんなと

和歌山県 トラック協会

(サビ繰り返し)

さあいこう さあいこう
君の笑顔に 会いに
さあいこう さあいこう
未来へ

和歌山県 トラック トラック トラック協会



発行：公益社団法人 和歌山県トラック協会
編集：公益社団法人 和歌山県トラック協会広報委員会
〒640-8404 和歌山市湊1414 TEL.073-422-6771
<http://www.watokyo.org>